

\*\*\*\*\*

言語研究センター共同研究

## 中国語初級リスニング自動学習システムの構築

加藤 宏 紀

2010年3月から新しい漢語水平考試 (HSK) が実施された。本研究グループはまず関連書籍を取り寄せ、1級と2級 (初級・基礎レベル) の聴力試験について、使用語彙や出題形式などの傾向を分析した。

1級を例に紹介すると、出題形式は (1) 図像と2~6語のフレーズからなる音声の内容との正誤判断、(2) 約10語からなる音声の内容と合致する図像選択、(3) 10語弱からなる発話に対しての約5語からなる質問の回答選択の3種類である。いずれの形式もキーワードとなる単語レベルの聴き取り能力が問われている。

今後は3級まで視野に入れ、使用語彙や出題形式の分析を進め、作問に必要な語彙・表現・文法項目の抽出作業に取りかかる。

また、同時にパソコンによる自動学習を行うためのプログラム作成に着手する。

